

(様式2)新規評価シート

林務部 森林づくり推進課

事業名		山地治山		路河川名等				
事業毎の通番		5	市町村名	上松町	箇所名(ふりがな)	古田小沢(ふるたござわ)		
事業概要	事業目的	計画地は、上松町の南西部を縦断する木曾川の左岸から約200m上流に位置し、下流部には国道19号、JR中央西線の他工場団地がある。 計画地は過去に発生した崩壊地において、現在も侵食が進行し土砂が供給され下流に流出している状態にある。 崩壊地は今後さらに拡大する危険性があり、このため崩壊地の復旧に併せて山脚固定と土砂流出防止のために谷止工を設置し、併せて周辺の森林整備をし、下流保全対象の土砂災害の抑止を図る。						
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	4-1 県土の強靱化(災害に強いインフラ整備)		事業実施の根拠法令等	森林法			
	関連する事業、計画等	なし						
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	JR(中央西線)、国道(19号線)、町道・林道 各300m、人家8戸、工場等6社(33名)ほか						
	着手年度	平成30年度	事業期間	5年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
	完成年度(見込み)	平成34年度	費用対効果	2.3	国庫	その他	県債	一般財源
全体事業内容(主な工種)	谷止工(コンクリート)1個、山腹工0.45ha:土留工(コンクリート)7個、実播工 森林整備(本数調整伐)3.0ha、測量設計1式			230,000	115,000	103,000	12,000	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	人家8戸、JR(中央西線)、国道(19号線)、町道・林道 各300m、工場等6社(33名)ほかの保全						
	間接的効果(定量的・定性的)	なし						
評価の視点	必要性	○人家戸数: ○公共施設数: ○災害時要援護者関連施設の有無: ○保安林・林業用施設:	8戸ほか工場等6社 JR(中央西線)、国道(19号線)、町道・林道 各300m なし 50.80ha/57.60ha=88.2%	評価	A			
	重要性	○過去の災害履歴: ○交通遮断による地域経済への影響: ○地域防災計画上の位置付け:	平成元年に山腹崩壊 JR(中央西線)、国道(19号線)の被災による物流等への影響が懸念される。 上松町地域防災計画(土砂災害特別警戒区域)	評価	A			
	効率性	費用便益比(B/C) 事業期間 工法等の比較検討 流域の総合調整	2.33 5年間(H30~H34) なし(測量設計後に検討) 全て治山事業で対応	評価	B			
	緊急性	流域の地形、地質 平均溪床勾配(平均山腹勾配) 下流の堰堤等の整備状況 山地災害危険地区危険度・土砂災害防止法指定区域	花崗岩 平均斜面勾配26.5%(37°) JR(国鉄時代)所管の堰堤(練石)2基設置済 崩壊土砂流出Aランク(418-2)	評価	A			
	計画熟度	事業情報の共有 地域の取り組み 地域の合意形成 住民との協働	H29.12.04、事業について上松町役場へ情報提供 なし H30.4事業について土地所有者へ情報提供 なし	評価	B			
	部局意見	当該地内では、崩壊地や溪岸の侵食により生産された土砂が下流に流出しており、今後の降雨等に伴う拡大崩壊により、下方国道、JRIに被害を及ぼす恐れがあるため、対策工事を行う必要がある。	採択状況	総合評価	○ A			
技術管理室意見	部局の意見を適当と認める。							

【位置図】

【平面図】

事業概要説明図表

【状況写真等】

崩壊地直下の不安定土砂

崩壊地内の浸食状況

周辺流域の荒廃森林

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	計画地は直下には鉄道・国道があり、中京圏(名古屋市)と中部圏(松本市・長野市)を結ぶ重要な機関交通網である。 災害履歴は不明であるが、昭和43年～昭和57年まで定期的に治山事業が実施されてきた。 また平成元年には人家上部での山腹崩壊が発生し、緊急治山事業が実施されている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	保全対象が鉄道・国道・町道のほか、工場団地や人家等もあり、地元からの要望が強い。
③事業説明等の経緯	町及び地域振興局で現地調査を行い、被災原因と今後の対応を検討した。 H30.4地域住民への地元説明会を開催。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	なし
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	コンクリート構造物のみに頼るのではなく、土砂流出を抑止するための「災害に強い森林」の造成など、森林の持つ機能を活かし、自然環境に調和した整備を行う。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により物流などのライフラインの安全が担保され、地域経済の活性化への悪影響が除かれる。
⑦その他	なし

事業代表地点の緯度経度	北緯:N 35° 44' 06" 00 東経:E 137° 43' 02" 00
-------------	---